

バイクシェアサービスは、ポートの識別をBluetoothのビーコンとGPSにて判定しているため、イベントや災害時など限定的なポート化が容易に実現できます。

現地にビーコンを設置し看板を立て、必要に応じて工事不要のラックを設置することで、後はシステム登録により運営ができます。営業時間の設定も可能なため柔軟な運用が行えます。

◆イベント時

小規模の自転車イベントだけでなく、100台規模の大型イベントでもビーコンを複数台設置することで大型臨時ポートを設置することが可能です。サイクリングイベントの事例では、1日パスを配布し、お客様が自転車にカードをかざすだけですぐに利用いただける環境を構築し、スムーズなイベント運営を実現しました。



大型イベント時の臨時ポート

◆災害時

2018年7月に発生した広島豪雨災害において、被災地支援として広島市内7か所の避難所に臨時のサイクルポートを設置しました。被災された方にとって効率的な移動手段となり復興の一助となることを目指し、避難所から買い物のために外出する際や、自宅へ立ち寄るシーンなどでシェアサイクルを活用いただきました。貸出の自転車はすべて無料で提供し、最も長い避難所では約3か月間臨時ポートを設置しました。



避難所の臨時ポート